

# さらに進んだ水づくり



## 硬度低減化施設

## 北谷浄水場

沖縄本島中部地域にある嘉手納井戸群や天願川、比謝川などの水源は、一帯の石灰岩土壌の影響を受け、硬度が高くなっています。

これらの水源は、北谷浄水場の原水として利用されていることから、北谷浄水場の供給区域は、硬度の比較的高い水となっていました。

そのため、井戸水を対象とする硬度低減化施設を整備し、平成15年6月から硬度を低減して水道用水を供給しています。

※令和3年度硬度低減化施設運用実績	処理前	305mg/L
	処理後	84mg/L



反応塔



## 海水淡水化センター

## 北谷浄水場

沖縄県では、1972年の本土復帰以降、ダム開発を始めとする水源開発を進めてきましたが、人口や観光客の増加、気象条件の変化により、たびたび水不足に悩まされてきました。

そのため、平成9年度に無尽蔵にある海水から、天気に左右されず、いつでも水を生産することができる、海水淡水化センターを建設しました。

同施設では、1日当たり4万m<sup>3</sup>の水を生産することができます。



海水淡水化センターの心臓部にあたる逆浸透設備

### 海水淡水化の流れ

